

かわさき

川崎こどもニュース



子ども一人ひとりが市民です！

編集 川崎教育文化研究所
発行 (一財)川崎教職員会館
川崎市中原区下沼部 1709-4
TEL044-433-9100

20年前、日本初の「子どもの権利に関する条例」が川崎市で作られました。条例は「子どもたちは生き生きと、ありのままの自分でいられ、幸せに暮らすことができる」と定めています。子どもたちは愛され、守られ、応援してもらえる、と約束されているのです。

条例をもとに、「子ども会議」が作られ、たくさんの委員が活動しています。川崎こどもニュースでは、1年を通じて子どもたちのとりくみを紹介してきました。

子ども会議のとりくみ報告

それぞれのチーム名が決定しました。

**かわっぴー
Kawappyチーム**

「コロナ禍でも川崎を楽しもう」をテーマに、カワサキ水族館(川崎水族館)、ラゾーナでコロナ対策について調査してまとめました。

エデュバリチーム

「休校中の学習について」をテーマに市内の学校にアンケートをとり、休校中の学習の様子について調査してまとめました。

まとめたことを、どのように市長さんに報告するか準備を進めています。

子ども会議とは・・・

子どもの権利に関する条例、第4章 子どもの参加 第30条に子ども会議について定められています。子ども会議は、子どもが自由に意見を言うことができ、その意見を自分たちでまとめていく会議です。この会議でまとめられた意見をいろいろな所に伝えに行きます。市長も、その意見を大切にしていきます。

子ども集会は書面で交流をしました



2月21日(日)に予定していた「かわさき子ども集会」は、残念ながら集まることができませんでした。川崎市子ども会議、各行政区の子ども会議の活動について書面で交流をしました。

また、みんなで集まれる日を楽しみに・・・

こんねんど かつどう 今年度の活動をふりかえって…

こんねんど ねんかん かつどう かえ おも かん
今年度1年間の活動をふりかえ、思ったことや感じたことを
みんなでだし合いました。現在の子ども委員(小4~高3)は
13人。そのうち5人が今年度から新しく参加しています。



はじめは、自分の意見がどう思われるのか不安で、
積極的に話せなかったけれど、みんなが自分の
話を聞いてくれるから、自由に話せたよ。だから、
自分もみんなの話をしっかり聞けたんだ。

参加する前より安心して話せるようになったよ。

自分の意見が取り入れられたことがうれしかったな。

これからも、いろいろな人に出会って話したいな。

コロナになったからかもしれないけど、人と出会って話す楽しさを感じられたよ。

サポーター(大学1年~)はどう感じたのか

インタビューしてみました!

「子どももおとなも一緒に活動できて、充実した子ども会議になりました。」
「今年は今までより、たくさんゲームをしたり、話し合ったりできて楽しかったです。」
「みんなで一緒に、外で遊んだのが楽しかったです。」
「以前より積極的に話す姿や集中して活動する姿など、子ども委員の様々な成長が見られてうれしかったです。」

子どももおとなも関係なく、楽しく遊んだり話し合ったりしているんだね。

川崎市と市内7区の子どもの会議は、
一緒に活動してくれるメンバーを大募集! お問い合わせは事務局へ。

教育委員会生涯学習推進課・川崎市子ども会議事務局

TEL: 044-200-3565 FAX: 044-200-3950

